

【医療情報:新聞報道など 2015 年 11 月～2016 年 2 月】

《ポリオ》

- **カラチで今年 2 例目の患者発生** (11 月 20 日, The NEWS)
ケマリタウン在住のパシュトゥン人家族の, ワクチンを接種されていた 2 歳の幼児 1 名。
2015 年のシンド州内の患者は 6 人, パキスタン国内全体では 41 人となった(2014 年は 306 人)。
- **2016 年初の国内での感染確認** (2 月 9 日, The NEWS)
8 日シンド州保健当局が, Gadap Town (カラチ市内) の生後 34 ヶ月の男児がポリオと診断されたことを確認。国内で, 今年初の患者発生となった。パシュトゥン人の家族で, 臨時のワクチン接種活動で 7 回の経口ポリオワクチンを接種されていた。

《デング熱》

- **10 歳代の患者死亡; カラチ市のデング熱対策** (11 月 11 日, DAWN)
マリール地区の 18 歳が, デング熱により死亡。2015 年のシンド州内(すべてカラチ)の死者は 9 人。州内で確認の 3200 人近い患者も, そのほとんどがカラチの患者である。2014 年のシンド州内の患者数 1295 人(カラチ 1277 人), 死者は 17 人。2005 年以降, 20 歳から 34 歳の死亡が最も多い。
カラチ市当局は”包括的プログラム”を開始したとするが, 実際は殺虫剤 Alpha Cypermethrin が 3 年間倉庫に眠ったまま, 昨年限期切れとなり, 予算も手当てされていない。
- **カラチのデング対策, 予算届かず** (12 月 18 日, DAWN)
14 日にデング熱による 11 人目の死者が発生する中, デング対策プロジェクトのための診断キット等の器材は長期間放置されたままとなっている。2013 年にカラチ市内で 5000 人以上の患者が発生したことを受け, シンド州保健当局は 4500 万ルピー(約 4750 万円)の予算を割り当てたが, 同プロジェクトに送金されないまま会計年度が終了した。
- **今週の患者 29 人, 死者なし** (2 月 13 日, The Express Tribune)
今週シンド州で 29 人の感染が確認, うち 28 人がカラチ市から報告。

《季節性インフルエンザ》

- **1 月にカラチ市内で 2 人が死亡** (2 月 3 日, DAWN)
1 歳乳児と 83 歳の計 2 人の swine flu による死亡を市保健当局が確認。1 月の感染者数は 22 人。
- **男性 1 人が死亡** (2 月 14 日, DAWN)
65 歳男性が豚インフルエンザにより死亡し, 年初から死者が 3 人となった。

《その他》

- **ラホール, メタン高濃度** (11 月 30 日, NHK ニュース)
(日本の)環境省が, 平成 21 年に打ち上げた温室効果ガス観測衛星「いぶき」の, 平成 24 年 12 月までの 3 年半の観測データにより, 中国の成都, 重慶, パキスタンのラホールの濃度が高いことが判明。
- **新生児死亡に対する早急な対策を要望** (12 月 1 日, The Express Tribune)
パキスタン小児科学会の会議で, アンゴラに次いで世界で最も新生児死亡が多いパキスタンでは, 毎月 2 万人(1 日あたり 670 人, 1 時間あたり 28 人)が死亡と発表。
52 % の新生児が, 技術を持たない出産介助者の下で出生。
- **パキスタンは世界で最も死産が多い国** (1 月 20 日, DAWN)
医学雑誌 The Lancet で, 小児の死亡統計 (child mortality) がある 186 カ国中, パキスタンは死産数が世界で最悪の出生 1000 あたりの 43.1 と報告。世界中で 1 年間に約 2600 万件の死産があり, 98 % が中低所得国で, 半数が出産中に発生。
主な原因は予定日超過(14%), 肥満・喫煙・糖尿病など(10 %), マラリア (8 %), 梅毒(7.7%) など。
- **B 型および C 型肝炎ウイルスのキャリア, 国内に 1200 万人** (2 月 4 日, The NEWS)
国内のキャリア患者は約 1200 万人で, 30 秒に 1 人が死亡。主な感染経路は, スクリーニングされていない血液による輸血と, 血液による汚染のある医療用具の再使用であると, 消化器科医が発表。